

D51保全にぜひご支援を

この活動にご協賛頂き、少しでも長くデコイチを神戸の、元町の看板として活用したいと願っています。ご賛同くださる方は、是非お声をおかけ下さい。また、ご寄付もお待ちしています

振り込み先:

三井住友銀行 神戸駅前支店

普通 7557942

口座名称: あいあいネット神戸

代表 木村 由巳子



〒650-0022

神戸市中央区元町通7丁目3-2

(有)ケイホワイト内

NPOあいあいネット神戸

代表 木村 由巳子

TEL 078-380-3302

FAX 078-351-7668

mail: iinet-kobe@k-white.co.jp

HP: <http://www.k-white.co.jp/iinetkobe/>



神戸街角サロン

会の目的・活動内容

神戸駅前に保存されているD511072号機は、ただ単にここに放置されているだけでは可哀相です。

この機関車を愛する人たちの手で、神戸、元町の西の入り口のシンボルとして維持し、さらなる美観向上を図り、私たちの街、神戸の都心活性化の一助としたいと考えています。「神戸・西元町のデコイチを守る会」は、2019年8月からこのデコイチの整備を始めました。ボランティアを募り、大体2ヶ月に1回のペースで整備作業を進めています。

運営母体であるNPO あいあいネット神戸のわずかな資金で塗料や資材を購入していますが、今後も可能な限り、活動を継続していく予定です。

神戸・西元町のデコイチを守る会

代表 飯野 浩三



神戸・西元町のデコイチを守る会

神戸・西元町のデコイチを守る会



写真提供 須田 剛氏

D511072号機について

この機関車は昭和18年2月27日に、名古屋市日本車輛本店で生まれました。第二次世界大戦時、資材や熟練工員が不足する中、一部を代用材料とした戦時型としてデビュー、北海道で活躍しました。

戦後、代用材料が危険な部位は本来の材料に戻す工事をされ、さらに寒冷地仕様の密閉型運転台に改められています。

特徴としては寒冷地式の密閉運転台のほか、戦時型の面影が残る炭水車(テンダー)下部の船底テンダーと言われる部分と、上部の蒸機溜・砂箱のカバーがボーム型といわれる簡易な構造になっている部分が残ります。

昭和50年12月、国鉄蒸気機関車終焉の僅か前に休車となり、苗穂工場で保管の後、「国鉄最後の蒸気機関車の一面をぜひ神戸市にと」神戸ライオンズクラブが神戸市を通して国鉄に貸与を要請、昭和53年7月15日から西元町の「グリーンD51広場」(今のきらら公園)に保管されました。後に鉄道開業時の神戸駅があった現在地に移設され今に至ります。

